

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年3月29日(2023.3.29)

【公開番号】特開2021-49296(P2021-49296A)

【公開日】令和3年4月1日(2021.4.1)

【年通号数】公開・登録公報2021-016

【出願番号】特願2019-176019(P2019-176019)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

A 63 F 7/02 304 D

【手続補正書】

【提出日】令和5年3月20日(2023.3.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

前面側に遊技球が流下可能な遊技領域が形成された遊技板と、遊技球の流路を変更させる開閉ユニットを具備している遊技機であって、

前記開閉ユニットは、

遊技の進行に応じて駆動させられる駆動手段と、

該駆動手段の駆動に基づいて可動するリンク部と、

前後方向及び左右方向へ広がる平板状の扉体と、

前記駆動手段、前記リンク部、及び前記扉体を収容支持している収容部と、

を有しており、

30

前記扉体は、前記リンク部の動作によって前後方向へ進退し、該進退によって遊技球の流路を変更させて所定入賞領域へ遊技球を入球可能にするものであり、上面視で前記駆動手段および前記リンク部と少なくとも一部が重なると共に、正面視で前記リンク部と少なくとも一部が重なるように設けられており、

また、前記扉体には、該扉体の後端から前方へ向かって切り欠かれた接触回避部を有しております、

前記接触回避部は、前記扉体の進退にかかわらず前記リンク部に接触しないように形成されており、

さらに、前記扉体は所定の単色とされる一方で、前記収容部は略透明に形成されるようになっており、

さらに、前記扉体が前方へ突出している状態においては、前記リンク部の後端よりも該扉体の後端が前方に位置するように構成されている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

40

50

パチンコ機のような遊技機として、遊技の進行に応じて遊技媒体が受入可能となる可変受入口（例えば、可変入賞口、可変始動口、大入賞口、役物入賞口、等）を開閉可能に開鎖している扉体と、扉体を駆動するソレノイドと、可変受入口に受入れられた遊技媒体が流通する通路と、通路を流通する遊技媒体を検知するセンサと、可変受入口を発光装飾させるLEDが実装された装飾基板とを有し、扉体、ソレノイド、通路、センサ、及び装飾基板を、可変受入口を有するケースに設けることでユニット化したものが提案されている（例えば、特許文献1）。これにより、遊技機の製造において、可変受入口に関する構成の組立てにかかる手間を簡略化することができる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

10

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2011-234807号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、従来と同等の構成では、ユニットに可変受入口が設けられていることから、遊技領域内において当該ユニットを配置可能な部位が限られてしまうため、他の機種に流用した時に、遊技領域内が代わり映えしないように見えてしまい、遊技者に対する訴求力を高めることが困難であった。また、ユニットのケース内にセンサや装飾基板等を設けているためユニット全体が大きく、相対的に他の役物や装飾体等を配置するためのスペースを圧迫してしまう問題があった。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

30

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、進退可能な扉体を有する開閉ユニットを小型化することで遊技者に対する訴求力を高められる遊技機を提供することにある。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

40

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、

前面側に遊技球が流下可能な遊技領域が形成された遊技板と、遊技球の流路を変更させる開閉ユニットを具備している遊技機であって、

前記開閉ユニットは、

遊技の進行に応じて駆動させられる駆動手段と、

該駆動手段の駆動に基づいて可動するリンク部と、

前後方向及び左右方向へ広がる平板状の扉体と、

前記駆動手段、前記リンク部、及び前記扉体を収容支持している収容部と、

50

を有しており、

前記扉体は、前記リンク部の動作によって前後方向へ進退し、該進退によって遊技球の流路を変更させて所定入賞領域へ遊技球を入球可能にするものであり、上面視で前記駆動手段および前記リンク部と少なくとも一部が重なると共に、正面視で前記リンク部と少なくとも一部が重なるように設けられており、

また、前記扉体には、該扉体の後端から前方へ向かって切り欠かれた接触回避部を有しております、

前記接触回避部は、前記扉体の進退にかかわらず前記リンク部に接触しないように形成されており、

さらに、前記扉体は所定の単色とされる一方で、前記収容部は略透明に形成されるようになっており、 10

さらに、前記扉体が前方へ突出している状態においては、前記リンク部の後端よりも該扉体の後端が前方に位置するように構成されている

ことを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

このように、本発明によれば、進退可能な扉体を有する開閉ユニットを小型化することで遊技者に対する訴求力を高められる遊技機を提供することができる。

20

30

40

50